

HOME > [研究所・附属施設・事務局紹介](#) > [東京事務所](#) > 東京事務所 過去のお知らせ

東京事務所 過去のお知らせ

「平成20年度 第2回新潟大学東京事務所講演会及び懇親会」の開催について

平成20年10月18日(土)に、キャンパス・イノベーションセンター東京において、「平成20年度 第2回新潟大学東京事務所講演会及び懇親会」を開催します。

当日、下記プログラムで皆様のお越しをお待ちしております。お誘い合わせの上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

なお、参加のお申込みは、別紙「申込書」([PDF](#)、[Word](#))によりお知らせいただくか、または、

- (1)参加内容(講演、懇親会)
- (2)お名前
- (3)勤務先(名称、所属)
- (4)連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス)
- (5)卒業年次・学部等名(新潟大学ご卒業の方のみ)

をメール本文に記載し、平成20年10月14日(火)までに東京事務所へお知らせくださいますようお願いいたします。

(TEL&FAX:03-5440-9081, 電子メール:r611001@cic.zam.go.jp)

<プログラム>

1. 日 時 平成20年10月18日(土) 14:30~19:00
2. 場 所 キャンパス・イノベーションセンター東京 5階リエゾンコーナー
(東京都港区芝浦3-3-6, JR山手線・京浜東北線 田町駅下車・東口から徒歩1分、
都営三田線・浅草線 三田駅下車 徒歩5分)
3. 講演会 14:30~16:55
 - (1) 講演「都市近郊農地の休耕田を活用した自然再生」14:45~15:45
紙谷 智彦 新潟大学副学長・自然科学系教授(大学院自然科学研究科・農学部)

広大な新潟平野の中核を占める田園型政令指定都市新潟は、都市周辺部に隣接する広大な水田、湿地、海岸林などに多くの問題を抱えています。なかでも全水田の3割を占める減反水田の管理は、農地管理、生物多様性回復、さらには、都市計画の観点からも大きな課題となっています。絶滅危惧植物を回復させ、淡水魚を休耕田に遡上させるなど、都市近郊農地における自然再生を目指したこれまでの活動をご紹介します。

- (2) 講演「植物成長剤“ALA(5-アミノレブリン酸)”を用いた砂漠緑化等の推進」15:55~16:55
笹木 正一(コスモ石油株式会社 研究開発部技術開発2グループ担当グループ長)

植物成長剤ALA(5-アミノレブリン酸)は、35億年前の原始の地球上に存在していたと考えられる、生命に普遍的に存在する天然アミノ酸です。従来、ALAは化学合成法で製造され、コストが高く、研究用試薬などの限られた用途にしか利用できていませんでした。

コスモ石油は長年にわたって研究を進め、微生物を用いた発酵法によって、従来よりも安価で大量に製造する技術を確立しました。これによりALAの有する多様な効能を微生物発酵分野、動物・医療分野、そして植物・農業分野に適応することが可能になってきました。今回の講演では、砂漠における植林研究を含め、植物・農業その他分野での用途開発に関する活動をご紹介します。

4. 東京イノベーションクラブ懇親会 17:15～19:00

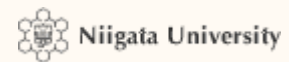
【参加費等】

※ 講演会は、参加費無料で、どなたでもご参加いただけます。

※ 懇親会は、新潟大学東京イノベーションクラブ会員限定ですが、現在会員でない方も、当日加入手続きいただくことでご参加いただけます。

※ 新潟大学東京イノベーションクラブについては、東京事務所ホームページ内別項「[■新潟大学東京イノベーションクラブについて](#)」をご覧ください。

[HOME](#) | [研究所・附属施設・事務局紹介](#) | [BACK](#)



このページは新潟大学広報委員会が作成いたしました。
Copyright(C)2002 Niigata University, All Rights Reserved.